

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			平成18年度		根拠法令・例規等
事業開始年度			平成18年度		
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	問 担当課(室) 社会福祉課 合 職・氏名 係長・大道健一 先 電 話 64-1824 このシート作成に要した時間 1.0 時間
	中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目	施策	03	障害者(児)福祉	
事務事業名			19	障害者相談員委託事業	

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	身体に障害のある方、知的障害のある方、その家族など。
目 的 (何のために)	身体に障害のある者の更正援護の相談に応じ、必要な指導を行い、福祉増進に資する。又、知的障害者又はその家族からの相談に応じ、必要な指導・助言を行い福祉増進を図る。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	医療・就職・年金・施設・家庭などの日常生活に関係した専門知識を必要としない相談については、相談員で対応していくことにより、少しでも多くの障害者やその家族を支援していきたい。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	身体障害者相談員委託業務	身体及び知的に障害のある者・家族の更正援護の相談に応じ、必要な指導を行い、福祉増進に資する。相談員は身体障害者相談員11名、知的障害者相談員5名	○
	知的障害者相談員委託業務		○

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		490	490	490	
	必要人員人件費	千円	0.02人	177	199	198
	事業費計		667	689	688	
	国県支出金		490	490	490	
	受益者負担					
	繰入金債	千円				
その他()						
一般財源			177	199	198	
受益者負担比率	%		-	-	-	
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
相談・指導件数	説明		身体及び知的障害者相談員が1年間に行った相談・指導件数			
結果指標量	件		336	361	308	
対前年比	%		-	107.4	85.3	
活動コスト			667,000	689,000	689,000	
単位当たりコスト	円		1,985	1,909	2,237	

事業の成果						
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値	
		目標値(A)		370	400	400
		実績値(B)	336	361	308	到達目標値
相談・指導件数	達成率(B/A)	#DIV/0!	97.57%	77.00%	400	
成果指標設定の考え方・式や説明						
身体及び知的障害者相談員が一年間に行った相談及び指導件数						

事務事業の評価		妥当性評価 <A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性		B
	市民ニーズ		
効率性の評価	コスト	C	
	目的達成度	B	
有効性の評価	市民参画度		

留意事項
事業の目的やその効性の値目評価を行っている結果指標に

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明		○				
身体障害者相談員11名、知的障害者相談員5名の計16名で活動を行っている。						

総合評価		評価区分 <A~E>	B
相談員は、障害者にとって身近な相談者として今後も必要な存在である。相談員によって相談件数にばらつきがあるが、もっと積極的に障害者やその家族のために活動していただけるよう働きかけていきたい。			

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標		○				
現状維持で実施するが、機会を捉え少しでも多くの障害者やその家族の支援をしていきたい。						